

# 令和3年度（2021年度）第2回柏崎市地域公共交通活性化協議会

## 議 事 録

- 日 時 令和3年（2021年）6月28日（月）  
午前10時00分から11時30分まで
- 場 所 柏崎市役所 1階 多目的室1・2
- 議事次第
  - 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議 事
    - 議案第1号 高柳町地域交通の再編案について
    - 議案第2号 柏崎市地域公共交通網形成計画の検証について
    - 議案第3号 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）（案）について
  - 4 そ の 他
    - 報告事項1 柏崎市地域公共交通計画の策定状況について
    - 報告事項2 市街地循環バス「かざぐるま」の経路変更に関する検証について
  - 5 閉 会

■ 出席者（順不同、敬称略）

氏 名	所 属
櫻井 雅浩	柏崎市長
佐野 可寸志	長岡技術科学大学 教授
玉巻 史成	国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部 交通企画課長
山崎 理 (代理 渡辺 圭佑)	新潟県柏崎地域振興局 企画振興部長
永井 一徳	越後交通株式会社 柏崎営業所長
吉田 一彦	柏崎交通株式会社 代表取締役社長
藤田 宏 (代理：山本 孝明)	東日本旅客鉄道株式会社新潟支社 柏崎駅長
長谷川 孝志	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課長
安井 和也 (代理 安原 狭)	新潟県柏崎地域振興局 地域整備部長
外山 清吾	柏崎市都市整備部長
本間 厚幸	柏崎市社会福祉協議会 会長
富川 明裕	柏崎商工会議所 専務理事
吉川 保 (代理 南方 伸之)	新潟県立柏崎高等学校 校長
西巻 淳一	日本労働組合総連合会新潟県連合会柏崎地域協議会 事務局長
本多 満理子	市民代表（柏崎地区代表・柏崎市民生委員児童委員協議会 会長）
田辺 正通	市民代表（高柳町地区代表・高柳地区コミュニティ振興協議会 会長）
田村 謙治	市民代表（西山町地区代表・大田地区コミュニティ振興協議会 会長）

事務局：柏崎市 総合企画部 飛田部長  
企画政策課 小林課長、竹内課長代理、田邊主任

■ 欠席者（順不同、敬称略）

島谷 尚之	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局 首席運輸企画専門官
佐久間 敏之	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局 首席運輸企画専門官
高橋 清吉	公益社団法人新潟県バス協会 専務理事
金子 隆	新潟県柏崎警察署 署長

## 議 事 要 旨

3 項目の議案について協議し、全て原案どおり可決された。

### ■ 議案第 1 号 高柳町地域交通の再編案について

#### 事務局から説明

柏崎交通株が高柳町地域で運行する地域交通を 8 月 2 日から再編したい。これまでの 6 路線の運行を廃止し、ドアツードア方式の「予約便」と、小学校の登下校にも対応する「定時便」の組み合わせで、1 日最大 9 便運行する。

乗車運賃は、大人運賃を 300 円（現在は 200 円）に、小中学生の運賃は無料（現在は 100 円）に改定したい。

#### 質疑・意見交換

委 員：再編によって、経費はどのくらい縮減するのか。

事 務 局：現行の経費は、令和 2 年度実績で約 1,800 万円である。これに再編に伴い廃止する高柳小学校のスクールバス 200 万円／年を加えて、年間経費は 2,000 万円となるが、そこから 2～3 割程度縮減できると試算している。

委 員：車両は何を使用するのか。

事 務 局：昨年導入した 14 人乗りコンピューター型をメインに、道路状況等によっては、小型車両の使用を想定している。

委 員：予約の有無によって、経費に違いはあるか。

事 務 局：運行事業者との契約上、予約の有無によって経費に変わることはない。

委 員：車内で運転士に直接、予約することは可能か。

事 務 局：今のところ、電話による予約のみを考えている。運行を開始し、利用状況を踏まえて、必要性を確認していく。

#### 採 決

異議なく、原案どおり可決。

### ■ 議案第 2 号 柏崎市地域公共交通網形成計画の検証について

#### 事務局から説明

令和 2 年度末で計画期間が終了した柏崎市地域公共交通網形成計画の検証結果について報告する。

4 つの評価指標のうち、「公共交通利用率」、「バス利用 1 回当たりの負担額」、「公共交通機関利便性の満足度」の令和 2 年度の数値は、いずれも当初現況値から悪化しており、目標値には至らなかった。

残りの 1 つの評価指標である「地域主体の運行を実施する地域数及び人口」の令和 2 年度の数値は、当初現況値とほぼ変わらなかったものの、目標値には至らなかった。

### 質疑・意見交換

委員：評価指標である「バス利用1回当たりの負担額」が大幅な増加している理由の一つとして、運行経費単価の増額とあるが、具体的にどのようなものか。

事務局：当該計画の策定時において、市内路線バスの多くを運行していた事業者は、北越後観光バス(株)であったが、計画期間中に越後交通(株)と統合したことで運行経費単価が大きく変化した。

委員：評価指標である「地域主担の運行を実施する地域数」に関して、目標値においては「2地域」としているが、計画策定時において、米山地区以外に想定していた地域はあったか。

事務局：当時から、郊外地域においては路線の維持が難しい懸念があったことから「2地域」とした。具体的な地域は申し上げにくい。

### 採 決

異議なく、原案どおり可決。

## ■ 議案第3号 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)(案)について

### 事務局から説明

本計画は、国からの補助を受けるために策定する個別計画であり、対象路線は、地域間幹線系統路線と接続する枝線路線のうち、市街地循環バス「ひまわり」、野田線、久米線の3路線である。

計画の目標値(収支率)は、近年の実績及び新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた上で、ひまわりを35%以上、野田線を22%以上、久米線を25%以上に設定した。

### 質疑・意見交換

佐野委員：コロナが収束しても、何もしなければ利用者数は元には戻らない。利用を回復させるための工夫を考えた方がよい。

委員：法改正に伴い、新たな地域公共交通計画にはフィーダー系統の位置付けや必要性等を記載する必要がある。

事務局：承知した。

### 採 決

異議なく、原案どおり可決。

## ■ その他

### ■ 報告事項1 柏崎市地域公共交通計画の策定状況について

### 事務局から説明

令和2年度から2か年に渡って策定を進めている柏崎市地域公共交通計画の進捗状況について報告する。

令和2年度は、アンケート調査、路線バス乗降調査、地域住民ヒアリングを実施した。アンケート調査は、対象を高齢者などの移動弱者にターゲットを絞って実施し、回収数は1,565票（配布数2,000票）で、回収率は78.2%であった。現在は、調査結果からの分析を進めているところであり、今後は課題を浮き彫りにし、計画における施策等に反映していく予定である。

#### 質疑・意見交換

委員：アンケート調査を高齢者などに絞っているが、観光客など潜在的なニーズを持った方にも意識することで、より良い計画になると思う。

事務局：優先すべきは高齢者などの交通弱者と考えているが、地域公共交通の維持・拡大を図っていく上では、それ以外の方の利用も促す必要がある。新規利用を促進させていくため、MaaSなどの新しい技術の導入に関して、計画における施策に盛り込んでいくことを検討していく。

### ■ 報告事項2 市街地循環バス「かざぐるま」の経路変更に関する効果の検証について

#### 事務局から説明

令和3年1月に翔洋校前まで延伸した「かざぐるま」の利用状況について報告する。「令和3年4月～5月」と「令和元年4月～5月」の利用者数を比較すると、全体的には、新型コロナウイルス感染症の影響で、大きく減少しているものの、翔洋中等教育学校の生徒が登下校する時間帯の便は、増加傾向にあることを確認した。そのため、今回の経路変更が、利用促進に一定の効果があったと判断している。

#### 質疑・意見交換

質疑・意見なし

#### 協議会の様子

